

## 第3学年道徳科学習指導案

日 時 令和○年○月○日 (○) ○校時

場 所 3年○組教室

授業者 ○ ○ ○ ○

1 主題名 進んでみんなのために働く 「C-(13)勤労，公共の精神」

2 ねらいと教材

(1) ねらい

自分ができる仕事を見付け，みんなのために働くことのよさを考えようとする道徳的心情を育てる。

(2) 教材名

「ごみステーション」(東京書籍 新しい道徳3)

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容についての教師の捉え方

本主題は，小学校学習指導要領特別の教科道徳，内容項目C-(13)「勤労，公共の精神」の「働くことの大切さを知り，進んでみんなのために働くこと」を受けている。

働くことは，人間生活を成立させる上で基本となるものであり，一人一人が働くことのよさや大切さを知ることにより，みんなのために働こうとする意欲を持ち，社会に対する奉仕や公共の役に立つ喜びをも味わうことができる。3年生の段階においては，みんなのために働くことで楽しさや喜びを味わうことがある一方で，働くことに負担を感じたり，面倒に思ったりする様子も見られる。自分の役割を果たし，力を合わせて仕事をする大切さを理解できるようにするとともに，家庭や学校等の身近な人から地域等の社会集団へと関わりを広げ，働くことの大切さやよさについて知ること，進んでみんなのために働くことにつなげたいと考え，本主題を設定した。

(2) 児童のこれまでの学習状況や実態

本学級の児童は，家の手伝いなど仕事をするに対して「手伝いが楽しい」「みんなが喜んでくれる」というように意欲的な児童が多い。その一方で，「面倒だと思う」「疲れる」「褒められたいから」という意識で行動している児童も少なくない。また，普段の生活の中でみんなのために働いている人に目を向ける機会が少ないことや働いている人がいるお陰で気持ちよく過ごすことができることに気付いていない児童もいる。

児童は，低学年で「働くことのよさを知り，みんなのために働くこと」について学習している。低学年での指導内容をさらに発展させ，本時の学習では「みんなのために働くことが集団生活の向上につながる事」まで考えさせたい。さらに，「教えて！なんでもそうだん室」の授業において扱う，「身の回りの生活の中で，集団の一員としてできることについて考えること」についてつなげていきたい。

### (3) 使用する教材の特質

本教材は、主人公の「わたし」が、ごみステーションを進んで片付けているおじいさんとの出会いから、みんなのために働くことの大切さについて考える姿を描いている。

主人公の「わたし」は、夏休みの宿題である手伝いとして、渋々ごみ捨てをすることに決めた。夏休み1日目、水泳教室に行く途中に、近所のおじいさんがごみ袋を片付けたり、袋のふちが閉まっているか確かめたりしている姿を目にする。「わたし」がおじいさんに「どうしてここを片付けているのか」と尋ねると、おじいさんは「みんなの場所をきれいにすれば、気持ちよく住めるから」と笑顔で答えてくれた。「わたし」は、自分たちのごみステーションがいつもきれいなのは、おじいさんが片付けたり、みんなに声を掛けていたりするからだということに気付く。それから「わたし」は、自分とおじいさんの違いについて考え始めるという話である。

おじいさんと自分の違いを考え始める「わたし」の心情について考えることを通して、進んで働くことの大切さに迫ることができる教材である。

### (4) 指導観

本時の指導に当たっては、主人公の「わたし」が夏休みの宿題として手伝いをするという児童にとって身近な場面を描いた教材であることから、児童が経験したことのある家での手伝いを振り返らせることで、「わたし」の心情や考えを自分との関わりで考えさせたい。

展開場面では、渋々ごみ捨てをしている消極的な「わたし」の様子を捉えさせることにより、働くことへの負担感や面倒に思う気持ちに共感させ、消極的な気持ちを自分事として考えさせたい。「わたし」が、自分とおじいさんの違いについて考え始める場面を中心場面とし、「わたし」の心情を自分なりにイメージさせていく。手伝いだからしている「わたし」と違い、自ら進んでみんなのために働いているおじいさんの素晴らしさに触れ、自ら進んで働く大切さに気付かせていきたい。

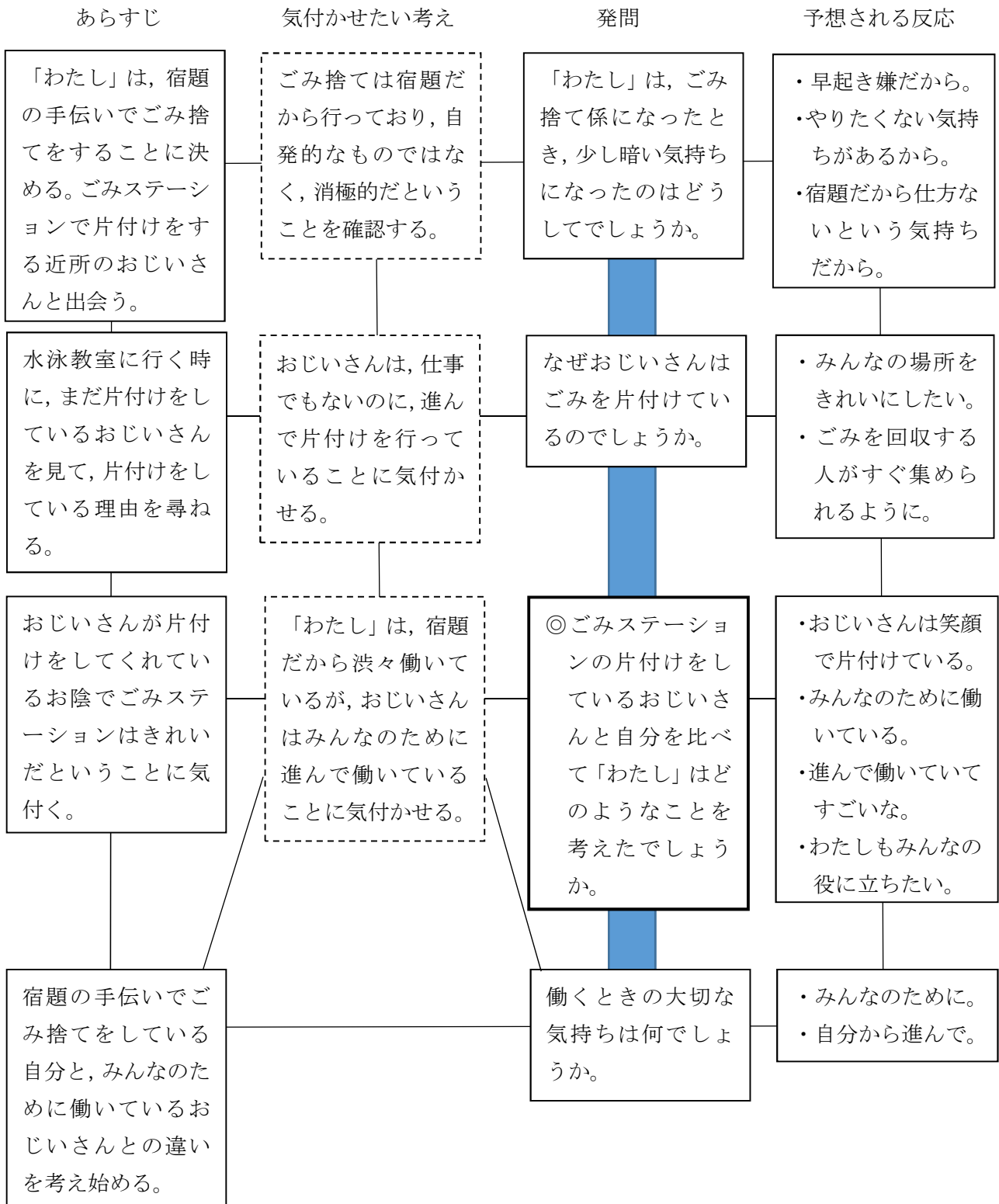
児童の学習状況を見取るために、座席表、板書の記録、ワークシートを活用する。座席表は、意図的指名を行うために、机間指導で児童の考えを把握する際に活用する。また、児童の記述の内容について、「わたし」とおじいさんの違いを「わたしは宿題だからという理由でごみ捨てをしているが、おじいさんは、みんなのことを考えて進んで片付けている」のように記入しているかなど、簡単な印や記号を用いて書き込むようにする。板書の記録については、児童の発言や思考の流れが分かる板書構造にし、授業後に写真を撮って振り返ることで、児童の考えを見取るとともに、教師自身が授業を振り返る際にも活用する。ワークシートについては、手伝いについての事前アンケートで書いた考えと授業を通して考えたことを比べることや今後の生活に生かしていきたいことを視点として示し、考えを書かせることで、本時の授業を通しての児童の考えの深まりや変容を見取りたい。

4 教材分析・発問構成・・・別紙

5 学習指導過程・・・別紙

6 他の教育活動との関連・・・別紙

(別紙) 4 教材分析・発問構成



(別紙) 5 学習指導過程

	学習活動	○主な発問 (◎中心的な発問) ●補助発問 ・児童の反応	指導上の留意点
導入 5分	1 本時のねらいとする道徳的価値について問題意識を持つ。(一斉)  2 課題をつかむ。(一斉)	○どのような気持ちで家の手伝いをしていますか。 ・みんなに喜んでもらいたい。 ・がんばろう。 ・楽しい気持ち。 ・少し面倒だな。 ・早く終わらないかな。	「お手伝い」に対するアンケート結果を提示し、今までの生活経験を振り返ることで自分との関わりで考えさせ、本時の課題に対する問題意識を持たせる。(問)(自)
	はたらくときの大切な気持ちについて考えよう。		
展開 30分	3 範読を聞き、「わたし」の気持ちの変化を捉える。(一斉)  4 「わたし」が手伝いのごみ捨てについてどう思っていたのか考える。(一斉)  5 おじいさんの行動を不思議に思っている「わたし」の気持ちについて考える。(一斉)	○「わたし」はごみ捨て係になったとき、少し暗い気持ちになったのはどうしてでしょうか。 ・早起き嫌だから。 ・やりたくない気持ちがあるから。 ・宿題だから仕方ないという気持ちだから。  ○なぜおじいさんはごみを片付けているのでしょうか。 ・みんなの場所をきれいにしたから。 ・みんなが気持ちよく住めるようにしたいから。 ・ごみを回収する人がすぐ集められるようにするため。 ・みんなに喜んでもらいたいから。	・登場人物の行動について簡単に押さえ、内容を理解しやすくする。 ・「わたし」の気持ちを考えながら聞かせる。  ・ごみ捨ての手伝いは宿題だから行っており、自発的なものではないことや「わたし」がごみ捨てに対して消極的であることを確認する。  ・おじいさんは、みんなのために進んで片付けを行っていることに気付かせる。

<p>展開 30分</p>	<p>6 おじいさんと自分の違いを考えている「わたし」の心情について考える。 (個人→ペア→一斉)</p>	<p>◎ごみステーションの片付けをしているおじいさんと自分を比べて「わたし」はどのようなことを考えたでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私は、宿題だからという理由でごみ捨てをしているけど、おじいさんはみんなのために働いている。</li> <li>・おじいさんは進んで働いていてすごい。</li> <li>・みんなのために笑顔で片付けているおじいさんは素敵。</li> <li>・わたしもみんなの役に立ちたい。</li> </ul> <p>○働くときの大切な気持ちは何でしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなのために。</li> <li>・自分から進んで。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「わたし」が、おじいさんの行動を見て考えたことを、これまでの自分の体験から感じたり、考えたりしたことを基に考えさせる。 (自)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ペアや全体で意見を交流することによって多様な考えに触れられるようにする。 (多)</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>&lt;評価&gt; 「わたし」がおじいさんと自分を比較して考えたことを通して、自ら進んで働くことの大切さに気付こうとしていたか。(自)【ワークシート・観察・発言】</p> </div>
<p>終末 10分</p>	<p>7 自己の生き方について考える。 (一斉)</p>	<p>○本時の授業を振り返り、「働くときの大切な気持ち」について、今後の生活にどのように生かすか考えたことを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今までは面倒だなと思っていたけど、みんなの役に立つとうれしいので進んで仕事をしたいと思います。</li> <li>・進んで働くとも自分も気持ちがいいと思います。</li> <li>・お手伝いは楽しいからやっていたけど、自分のことしか考えていませんでした。これからは、みんなも助かるから頑張ろうという気持ちになりました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート時の自分の考えと授業を通して考えたことを比べることや、今後の生活に生かしていきたいことを視点として示し、振り返らせる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>進んで働くことの大切さについて書かせることで、自分の生活を振り返り、自己の生き方についての考えを深めさせる。(生)</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>&lt;評価&gt; 進んで働くことの大切さを自分との関わりで考え、今後の生活にどのように生かすかを考えていたか。 (自)(生)【ワークシート・観察・発言】</p> </div>

(問)：問題意識を持たせる

(多)：多面的・多角的に考えさせる

(自)：自分との関わりで考えさせる

(生)：自己の生き方について考えさせる

## 【評価】

### <児童の評価>

- ・「わたし」がおじさんと自分を比較して考えたことを通して、自ら進んで働くことの大切さに気付いたか。  
(自)【ワークシート・観察・発言】
- ・進んで働くことの大切さを自分との関わりで考え、今後の生活にどのように生かすかを考えていたか。  
(自) (生)【ワークシート・観察・発言】

### <教師側の授業評価>

- ・中心発問において、「わたし」の心情を自分なりにイメージさせることで、自分との関わりで考えさせることができたか。  
(自)【ワークシート・発言・観察】
- ・進んで働くことの大切さについて書かせることで、自分の生活を振り返り、自己の生き方についての考えを深めさせることができたか。  
(自) (生)【ワークシート・発言・板書】

## 【板書】

○月○日 だい○回 道とく  
ごみステーション

はたらくときの大切な気持ちについて考えよう。

考えている  
「わたし」の絵

暗い気持ちの  
「わたし」の絵

そうじをしている  
「おじさん」の絵

みんなの場所をきれい  
にしたい。

みんなが気持ちよく  
住める。

ごみを集める人がすぐ  
集められる

みんなによろこんでも  
らいたい。

みんなのために  
進んではたらいてほしい。

自分から進んで

## 【準備物】

教師：教科書，ワークシート，挿絵

児童：教科書，筆記用具

(別紙) 6 他の教育活動との関連

